

おつとめ

中学生になつても、ナイフを使ってりんごの皮がむけない子、鉛筆の芯のけづれない子が増えているといいます。なお驚いたことには、あさ顔を洗う際に、ただ顔に水をジャブジャブかけるだけで、指を使つて顔のすみずみをコシコシ洗えない子供もあるというではありませんか。

またサイレントベビーと言つて、二才三才になつても、ことばを言えない子供も多くなつてゐるといいます。

いったいどうしてこのようなことが子供のうえにおこつてくるのでしょうか。おんぶにだっこをしてもらえたからだといふらだといいます。また、おかあさんからよびかけてもらえたからだといいます。

このごろのおかあさんは、たいてい核家族。しかも共働きをしなければなりません。

忙しくて、なかなかゆっくりとおんぶなどを使つて、育児にかける時間も合理的に節約しなければなりません。

こどもはしかし、おかあさんと肌を接し、おかあさんの体温と心音にふれながら、安定したこころが育つのです。

中学生になつても、ナイフを使ってりんごの皮がむけない子、鉛筆の芯のけづれない子が増えているといいます。なお驚いたことには、あさ顔を洗う際に、ただ顔に水をジャブジャブかけるだけで、指を使つて顔のすみずみをコシコシ洗えない子供もあるというではありませんか。

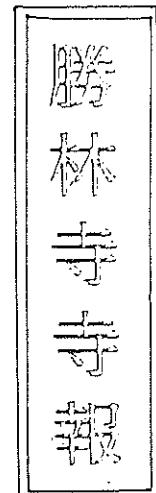
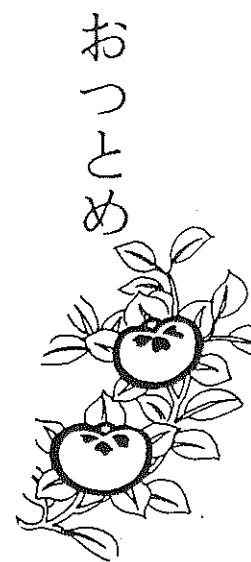
おかあさんの忙しさの中で、おんぶやだっこ、呼びかけがもらえなかつた子どもが、皮むきのできないコトバの言えないとこどもとなつたのだといいます。

『お正信偈』というおつとめがあります。

親鸞さまは、量り知れない大きな如来さまの体温と心音とを、指先と掌とで探り求め、その呼び声を聞いていらっしゃるのです。

いまお釈迦様は、如来のおこころを、どのように伝えてくださつてゐるのだろうか。龍樹・天親などの菩薩さまがたは、いまこの親鸞に、如来さまの声をどのように聞けとお勧めくださつてゐるのか。

母の乳房をまさぐりながら、母のその口元をみつめながら、そこから伝わつてくる如來の体温・心音を、信心歡喜したまめなのです。



おっぱいを含みながら、もう一方の乳首をこねたり乳房をヒタヒタしたり。添い寝のおかあさんの耳たぶをいじつたり耳の穴に指をつつこんだりしながら、指先の感覚をおかあさんからもらうのです。

一日に何度も何度もおしめをとりかえてもらうその度に、おかあさんら呼びかけられ語りかけられ、そのおかあさんのお口もとをみながらおかあさんからコトバをもらうのです。

おかあさんの忙しさの中で、おんぶやだっこ、呼びかけがもらえなかつた子どもが、皮むきのできないコトバの言えないとこどもとなつたのだといいます。

『お正信偈』というおつとめがあります。

葬儀

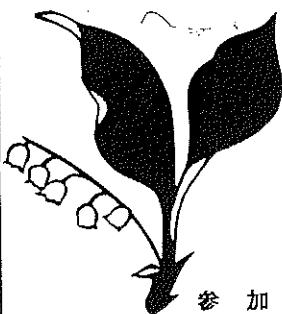
四月二十七日

日野辺

坂本 嘉吉好様



言記	
ところ程	平成3年6月16日(日) AM9:30
ところ程	出石町島 西宗寺
受付	AM9:00
仏婦連盟総会	9:30
会員物故者追悼法要	11:00
昼食	PM12:00
歌唱指導	12:45
同朋講座 西池先生	1:00
記念講演 本山組織部長 総連盟事務局次長 藤実無極先生	
閉会	3:20
参加費	800円



出石組仏教婦人会連明会

総会ご案内



左記の日程により仏婦連盟総会が開催されます。午前には会員物故者の追悼法要もございます。記念講演はご本山から教育局組織部長の藤実無極先生に来ていただきます。

ご参拝ご参加いただかたは6月6日までに勝林寺へご連絡下さい。

六月のことよみ



三十日	二十九日	二十八日	二十七日	二十六日	二十五日	二十四日	二十三日	二十二日	二十一日	二十日	十九日	十八日	七日	六日	五日	四日	三日	二日	一日						
同じ	△云	△云	△云	△云	△云	△云	△云	△云	△云	△云	△云	△云	△云	△云	△云	△云	△云	△云	△云	△云	△云	△云	△云	△云	
真覚寺永代経	玉井道則氏宅法事	玉井克弥氏宅祥月	玉井克弥氏宅祥月	△云	△云	△云	△云	△云	△云	△云	△云	△云	△云	△云	△云	△云	△云	△云	△云	△云	△云	△云	△云	△云	
△云	△云	△云	△云	△云	△云	△云	△云	△云	△云	△云	△云	△云	△云	△云	△云	△云	△云	△云	△云	△云	△云	△云	△云	△云	

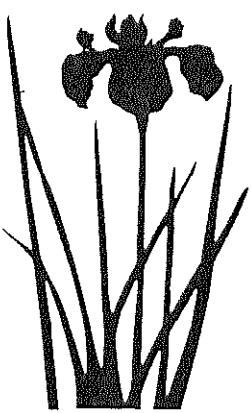
みのりを聞く

生きている日々。
今日はひと日を生きる私た
ちは、感謝させていただかねばならない
ことが数多くあるように思われます。
たとえば朝の目覚めで、今日も生かさ
れていたことに気付き、私のこの足で立
てみると、感謝せずにおられません

作品展へのご依頼

勝林寺仏教婦人会 組合

勝林寺仏教婦人会長
宮古嶋子



後日別に案内致します。

つことができた。トイレに行くことがで
きる。ありがたいことです。朝食の準備
ができる。この手この足のおかげで。
「おはよう」を交わし合える家族がい
る。新しい朝、すばらしい一日のはじま
り。みんな元気であればそれぞれの仕事
が進んでいく。たった一時だけでも、心
してみると、感謝せずにおられません

この世に人間として生まれさせていた
だいた不思議。父母との縁。
こんなことを考えて見ると、長い人生
の一にも感謝することの数多いことに
気が付かせていただいている私でございま
す。

さて、ちょっと昔のお母さん、現在の
若いおかあさん。

今年もはや夏がきて、山には卯の花が
咲き藤の花房も垂れ下がっております。
この自然の移り変わりにこころを止める
とき、またしても生かされているよろこ
びを感じさせられます。

仏教婦人会の組合△云が来る七月九日
に近付きました。わたくしたち仏教婦人と
しての生きがいを互いに確かめ合う大切
な総会です。

五年まえより、坊守さま役員様がたの
発案で、永代経法要・仏婦総会のこの機
会に作品即興展を開催していただいて
おりました。

五年まえまであと一月です。
昨年にも増してアイデア作品・オリジ
ナル作品を、何かに挑戦してみる元気で
あなたの作品をお願い致しく存じま
す。



苦をぬがれるには
その苦を
生かしていく道を
学ぶことです



「一生ノ間、能ク莊嚴セン」（あなたと
縁を結び、友となり妻ともなつて、一生
の間あなたの人生をかざつてあげましょ
う）という如来さまのお告げを聞かれた
親鸞さまのおしあわせを、わたしも今ベ
ットのうえであじあわせていただいてお
ります。

アメリカの嫁からもカルホルニヤの四月
の花が写真で送ってまいりました。

いに分ちあいましょう。
昨年は約三十点。坊守さまほか十七
名さまの作品を展示させていただきまし
た。本年度はとくに若いおかあさんの作品
と、勝林寺仏婦の若返りを期待いたして
おります。

総会にはみなさんこぞっていご出席い
ただき、お念佛に出会わせていただきま
しょう。ご協力のほど、よろしくお願ひ申し上
げます。

病床だより

四月五月は花の季節でございました。
病院の一部屋にいる私も、毎日のよう
に見舞つてくださる方々からのたくさん
な花花にうもれてこの季節を過ごさせて
いただきました。

お水さえうけつけないのに腹痛があり、
胆囊炎といふことで五月二十日にも急に
手術をいたしました。次々にどうしてこ
んな別の病氣がでるのだろうと情けなく
思います。そんな情けない私が、この季節、花にう
もれて過ごさせていただけます。

お棺のなかに花にうもれたわたしを想像
したり致します。

勿体ないことです。
こんな因業愚痴なわたしを、いろんな花
で莊嚴してくださいます